



住吉中学校だより 9月号

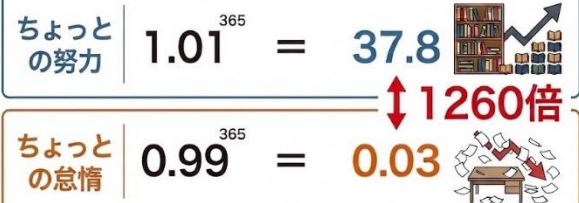
文責 校長 山下直之

【校訓】 自主 敬愛 剛健 勤労 【学校教育目標】 夢への挑戦 他への貢献

2学期スタート！

この度の令和8年熊本地震により被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。学校では、8月31日（月）に始業式を実施し、2学期が通常どおりスタートしました。先日の地震を受け、当日は私も通学路に立って登校を見守りましたが、子どもたちの変わらない明るくさわやかな挨拶に触れ、とても安心しました。

始業式では、学校教育目標の「夢への挑戦」の達成のため、右下のように少しの努力の積み重ねは大きな成果をもたらすことについて話をしました。また、掃除に力を入れて欲しいことについて話をしました。理由としては、掃除を主体的に取り組むことは、「他への貢献」につながるだけでなく、気付く力、課題を解決する力、感謝の心など大切な力等を身につけることができるからです。充実した2学期の116日間を過ごして欲しいです。



人権講演会



9月9日（水）、水俣市立水俣病資料館語り部の会副会長の杉本肇さんをお招きし、人権講演会を実施しました。講演では、当時の社会背景を交えながら水俣病の発生経緯について説明していただき、その後、杉本さん御自身や御家族の経験をお話しいただきました。発生の経緯については、とても分かりやすく説明していただきました。また、当時小学5年生だった長男の肇さんは、御両親が入院され、兄弟5人での生活を余儀なくされたものの、周囲に悩みを相談できる状況ではなかったと語られました。患者の家族が置かれていた当時の厳しさを痛感させられるエピソードでした。

以前、亡くなられた肇さんのお母様である杉本栄子さんの講話を聞いたことがあります。「知らないことは罪です。知ったかぶりはもっと罪です」というお言葉は、今でも私の心に深く残っています。知らないことで自分が気付かないうちに差別をしてしまったり、知ったかぶりをして間違った情報を広めることで差別を拡散してしまったりすることへの戒めだと捉えています。裏を返せば、「まずは知りましょう。そして正しく知りましょう」ということです。人権学習は、「正しく知ること」からスタートします。今回の杉本さんの分かりやすい御講演を通して、生徒たちも水俣病と人権について正しく理解を深めることができたと感じています。

生徒が頑張っています

「青少年の主張」で3年生の鎌賀琉斗さん、「こども未来都市シンポジウム」（地域の諸問題や将来のまちづくりについての提案）で瀬戸ロー太さん、伊藤蒼空さんが表彰を受けました。



先生も頑張っています

宇土市教育委員会による学校訪問や三校二園連絡会（住吉中校区の幼・保等、小、中連携のための会）において、授業参観をしてもらいました。出していただいた気付き等を今後に生かしていきます。

